中学校２年【国語】『新編　新しい国語２』（東京書籍）

教科書を活用した家庭学習例～計画的な家庭学習へ向けて～

|  |  |
| --- | --- |
|  | 課題内容 |
| 第１回 | 【単元名】「未来へ（詩）」　【ページ】表紙裏  【学習の流れ】  １　題名からイメージしたことを、ノートに書く。  ２　詩を繰り返し音読して、時を表す表現や意味が分からない言葉に線を引く。  ３　意味が分からない言葉は、辞書などを使って調べ、ノートやワークブックに書く。  ４　各連で表されている時の流れに注意して詩の意味を捉え、読み方を工夫して詩を音読する。  【学びの確認】  ・作者が詩を通して伝えたいことと、それに対する自分の考えをノートに書きましょう。 |
| 第２回 | 【単元名】言葉を磨く「メッセージをどう聞くか」  【ページ】１８～２０ページ  【学習の流れ】  １　題名でキーワードを確認する。  キーワード「メッセージ」「聞く」  ２　段落に番号を書き、段落数を確認する。  キーワードやそれに関係すると思う言葉に線を引きながら、全文を音読し、内容を大まかにつかむ。読めなかった漢字は、教科書本文の右側にふりがなを書く。  　意味が分からない語句は、辞書で調べる。  ３　「メッセージ」という言葉がどんな意味で使われているかに注意しながら、筆者の考えをノートにまとめる。  【学びの確認】  ・最後の段落について、自分が考えたことをノートにまとめよう。  ・ワークブック等を解く。 |
| 第３回 | 【単元名】言葉を感じる「短歌を楽しむ」「短歌５首」  【ページ】２１～２５ページ  【学習の流れ】  １　全文を音読し、読めなかった漢字は、教科書本文の右側にふりがなを書く。  　　意味が分からない語句は、辞書で調べる。  ２　短歌の形式や特徴について、最初の２段落と最後の２段落、２５ページの「言葉の力」を読んでノートにまとめる。  ３　短歌の後にある鑑賞文を読み、短歌の情景や心情、表現の工夫を説明している部分に線を引く。  ４　２１～２２ページの短歌３首の中から、気に入った短歌を一つ選び、教科書の鑑賞文を参考に、自分が短歌から想像したことをノートにまとめる。  ５　「短歌五首」のそれぞれの歌に詠まれている情景や心情を想像して音読する。  ６　気に入った短歌を１首選び暗唱する。  【学びの確認】  ・「短歌５首」から、気に入った短歌を一首選び、鑑賞したことを書く。鑑賞には、自分が短歌から読み取ったことや感じたこと、表現の工夫をノートに書きましょう。  ・ワークブック等を解く。 |
| 第４回 | 【単元名】言葉を感じる「短歌のリズムで表現しよう」  【ページ】２６～２７ページ  【学習の流れ】  １　全文を読み、短歌を作る上で大切だと思ったところには線を引く。  ２　自然の風景や自分の体験から思いつくことを、ノートに書き出す。  ３　書き出した言葉を、五七五七七に並べてみる。音読して、言葉を選び直したり、並べ替えたりする。  ４　短歌を音読する。  【学びの確認】  ・自分が作った短歌で伝えたい情景や心情、工夫した表現などをノートに書きましょう。 |